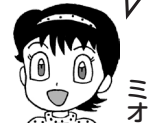


6年

国語	詩の表現技法	6年	組
		名前	

① 詩の表現技法について話しています。当てはまる言葉を□から選んで()に書きまじょう。

① 比喩とは、あるものを他のものに(たとえて)表すこと、人間でないものを(人間であるか)のように表す擬人法も比喩の一つです。



② 動物などの声や(自然の音)などを表した言葉を擬声語や擬音語と言います。生物や事物の(動きや様子)の感じを表した言葉を擬態語と言います。これらをまとめて(オノマトペ)と言います。



③ 同じ、もしくは似た言葉や文を(連続)させたり、別の連で(くり返す)方法を(反復)と言います。



④ ふつつの言い方と言葉の(順序)を(入れかえる)方法を倒置と言います。



くり返す・人間であるか・入れかえる連続・自然の音・反復・動きや様子たとえて・オノマトペ・順序

同じ言葉は一度しか使えないよ。

② ①〜⑤の—を引いた接続詞はア〜オのどれに当たりますか。()に記号を書きまじょう。

① その湖はとても深く、そして、とても美しい。(ウ)

② かりんの飼っているネコはかわいくて、そのうえ、とてもかしこい。(イ)

③ もう、6時だ。さて、夕飯にしよう。(エ)

④ コーヒーがいい？ それとも、紅茶がいい？(オ)

⑤ ほ乳類は海にも生息しています。たとえば、クジラやイルカなどです。(ア)

ア例を示す イつけ加える ウ並べる
エ話題をかえる オどちらかを選ぶ



③ ①〜②の□に当てはまる漢字を書いて、ことわざや故事成語を完成させまじょう。

① 論より証() ② 灯台もと暗し

③ 漁夫の利 ④ 弘法にも筆の誤り

⑤ 泣き面にはち ⑥ 二階から目薬

⑦ まかぬ種は生えぬ ⑧ 焼け石に水

⑨ 月とすっぽん ⑩ 五十歩百歩

⑪ 苦しい時の神だのみ ⑫ 他山の石

